Q3. 流水型ダムが無い場合とある場合で、洪水時の川辺川の水位はどう変わるのでしょうか。

○　川辺川の流水型ダム完成後（令和 17 年度予定）に、仮に令和２年７月豪雨が発生した場合、流水型ダムが無ければ堤防から越水することになりますが、ダムの洪水調節効果や河川整備（河道掘削、堤防整備、遊水地等）により、例えば相良村内では堤防から越水せずに流下させることができます。

※上記の結果は、ダムが完成した時点（令和 17 年度（2035 年度））において、令和２年７月豪雨が発生したと仮定した計算結果に基づいたものです。

○　これらの川辺川の流水型ダムの洪水調節による水位低減効果について、地域住民の方々に分かりやすく説明するため、仮想空間技術（メタバース）を活用した動画を作成し、事務所 Web サイトで公表しており、洪水調節地内の貯水位の変化やダム下流の川辺川（代表８地点）の水位変化を表現しています。

○　川辺川の流水型ダムの有無による川辺川の水位変化について確認したい方は[こちら]をご覧ください。

＜参考＞川辺川の流水型ダム完成時点の治水効果～令和２年７月豪雨が発生した場合～

■相良村内（川辺川）での治水効果



【氾濫シミュレーションの算定条件】
・対象外力は、令和２年７月豪雨実績相当。
・越水による氾濫のみを考慮しており、堤防決壊や内水は考慮していない。
・流水型ダム完成予定時点の河道は、令和 17 年度末時点で完成予定の河川整備計画メニュー（河道掘削、堤防整備、遊水地等）を見込んでいる。